

## チオグリコレートクリアーブイオン (THIOC-ST)

For microbiological control only

CLEAR-THIO (THIOC-ST)

メンブランフィルター法による無菌試験用

**用途**

クリアー チオ(チオグリコレートブイオン(レザズリン添加))は主に嫌気性菌検出に用いられますが、好気性菌の検出も可能です。

本培地はヨーロッパ薬局方、アメリカ薬局方、日本薬局方でメンブランフィルター法による無菌試験用培地として推奨されています(1,2,3)。

**原理**

ペプトン混合物を含有することにより、ほとんどの微生物の増殖が促進されます。

還元剤(L-シスチンおよびチオグリコール酸)および酵母エキスにより嫌気性菌の増殖が促進されます。

酸化還元指示剤(レザズリン)により、酸素の有無がわかります(酸素が存在する場合;ピンク~藤色)。

調製済み培地		
REF 44021	ボトル培地	12本(100mL)

**組成****理論値**

性能を確保するため、若干変更される場合があります。

カゼイン胨臓分解物(ウン)	15g
L-シスチン	0.5g
一水和ブドウ糖	5.5g
(または無水ブドウ糖	5g)
酵母エキス	5g
塩化ナトリウム	2.5g
チオグリコール酸ナトリウム	0.5g
(またはチオグリコール酸)	0.3mL)
レザズリン	0.001g
寒天	0.75g
精製水	1000mL

pH7.1

**必要な試薬または器材****試薬**

- リンス溶液 (Fluid A: Ref. 42044 または 42616)
- リンス溶液 (D 液) (Fluid D: Ref. 42624)
- トリブケースソイブイオン (Ref. 44011)

**器材**

- ふ卵器

**関連器材**

- 滅菌通気針
- ろ過器

**使用上の注意**

- 微生物試験にのみご使用下さい。
- 熟練者のみご使用下さい。
- 無菌操作および細菌を取扱う上で必要な注意事項に留意して下さい。
- 本培地は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がないことを保証するものではありません。したがって、これらは潜在的に感染の可能性があるものとして、充分ご注意の上お取り扱い下さい(摂取または吸入しないで下さい)。

- 全ての検体、培養物および検体を接種した製品は感染性があるものとして適切にお取り扱い下さい。被検菌の無菌操作および通常操作の留意事項は以下のガイドラインを参照して下さい。**安全ガイドライン:** CLSI® M-29A, *Protection of Laboratory Workers from Occupationally Acquired Infections ; Approved Guideline - Current Revision* **操作留意事項:** Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories, CDC/NIH – Latest Edition または各国の最新のガイドラインに従って下さい。
- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 使用期限切れの製品は使用しないで下さい。
- コンタミネーションの起きている培地は使用しないで下さい。
- ピンク~藤色の層が培地表面から 1cm 以上みられる場合は使用しないで下さい(静置した後確認して下さい)。
- 薄い黄色以外の色の培地は使用しないで下さい。
- 薬局方では、本培地は Class A (Class B の環境中に設置されている)、あるいはアイソレーターで扱う必要があるとされています。
- ボトルの外側は無菌ではありません。以下の点にご注意下さい。

- メンブランフィルター法による無菌試験の際には: ボトルの透明な蓋の内側に、灰色のストッパー(注射器で突き刺すことができます)がついています。透明な蓋は密閉できるものではありません。したがって、注射器を突き刺す前にストッパーを消毒する必要があります:
- 蓋をはずし、灰色のストッパーを消毒剤に浸した滅菌ガーゼで消毒して下さい。
- 乾燥させます。
- お持ちのろ過器の取り扱い方法に従って下さい。
- 直接法に用いる際には: ボトル内部は培地の安定性を保つため陰圧になっています。ボトルの外側は無菌ではなく、ボトルキャップを緩めると周辺空気が吸い込まれコンタミを生じる可能性があります。ボトルキャップを緩める前に、コントロールされた環境下でボトル全体を丁寧に消毒して下さい。透明な蓋をはずし、灰色のストッパーを消毒(上記の方法を参照)してから滅菌したフィルター付通気針を用いて、ボトル内の窒素ガスを除きます(ボトル内を陰圧の状態から大気圧に戻す)。
- 本培地は添付文書に記載されている手順に従って使用して下さい。手順を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。

**貯蔵法**

箱未開封の状態、2-25°C下で使用期限まで保管可能です(冷凍厳禁)。

**検体**

検体の調製については、薬局方に記載の方法に従って下さい。

## 使用法

### メンブランフィルター法による無菌試験:

薬局方に記載されている方法:

1. 各メンブランで、少量のリンス溶液 (Fluid A あるいは Fluid D) をろ過します。
2. 検体を2つに分け、それぞれ別のメンブランでろ過します。ろ過する量は検体によります。
3. 各々のメンブランを 100mL のリンス溶液で洗い流します。洗い流す回数は検体によります。
4. 一方のメンブラン上に 100mL のトリプケースソイブイオンを、もう一方のメンブラン上に 100mL のクリア チオを注ぎます。
5. 14 日間以上培養します。
  - トリプケースソイブイオンは 20-25°C
  - クリア チオは 30-35°C

### 直接法:

薬局方に記載されている方法に従って下さい。

試験管入り培地 (Ref. 42018) もあります (ご使用時は該当の添付文書を参照して下さい)。

## 判定

薬局方に従って下さい。

培養後、菌の増殖 (通常培地が濁ります) を確認して下さい。

## 品質管理

本培地は厳格な品質への要望を満たすよう開発・製造されています。

各ロットの品質管理における菌株試験結果は試験成績書に記載されています (ご要望により提供致します)。

## 留意事項

- 微生物の増殖度合いは各個体の要求性に左右されます。従って、特殊な要求性 (基質、温度、培養条件等) を有する菌株は発育しないこともありえます。
- 様々な検体を用い評価していますが、用途に応じて培地を再評価されることをお勧めします。

## 廃棄処理

使用の有無に関わらず、試薬は他の汚染廃棄物と同様、感染性もしくは感染の危険のある製品の取り扱い方法に従って廃棄して下さい。

起こりうる危険を適切に考慮の上、各検査室の責任の元、廃棄産物や流出物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄して下さい。

## 参考文献

1. European Pharmacopoeia EP4.
2. United States Pharmacopoeia USP 17.
3. Japanese Pharmacopoeia JP14.

## 記号

記号	内容
 または REF	品番
	製造元
	保管温度
	使用期限
	ロット番号
	添付文書を参照
	<n> 回分の試験を含む

(問い合わせ先)

製品関連

シスメックス株式会社 CS センター

臨床 (病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034  
産業 (企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

シスメックス・ビオメリュー株式会社

TEL: 03-6834-2669 (代表)



The logo is a registered and protected trademark of bioMérieux sa or one of its subsidiaries.

## シスメックス・ビオメリュー株式会社

東京都品川区大崎一丁目2番2号  
大崎セントラルタワー8階

Tel: 03-6834-2666 / Fax: 03-6834-2667

<http://www.biomerieux.co.jp>



bioMérieux SA

69280 Marcy-l'Etoile/France

Tel.33(0)4 78 87 20 00 /

Fax33(0)4 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>